

Alan Siaroff, Democratic Breakdown and Democratic Stability: A Comparison of Interwar Estonia and Finland, Canadian Journal of Political Science, 32/1, 1999.

政治文化、エリートが民主主義の正統性を身体化していること、安定した政党システム、民主主義への漸次的な移行、制度、の5つの要素の絡み合いから民主主義の崩壊を説明できるという、ダール等の政治理論を実証しようとしたもの。しかしそれが目的なら、途中の歴史的流れに関する記述は不要で、むしろ、上記5つの要素のそれぞれの中身に踏み込んだ実証が必要ではないか。その部分がすべて人の研究からの引用なので、説得力に欠ける。なぜ、ストールベリが民主主義を強く信奉し、パッツが口では民主主義が重要といいながら、それを逸脱する体制を作ったのか。歴史的背景を描いてそれを証明したつもりになっては意味がない。研究史の概説として読むなら価値あり（^^）。

参考ファイル一覧

現在、教育省機関紙"Eest Kool"(1935-1940)と"Niukogude Kool"（一部）の詳しい目次一覧を見ることができます。